



2016年度 第14回 SDフォーラム

大学職員の「専門性」を考える

2016年 **10月23日** (日)

10:00~17:15 [9:30受付開始]

会場：キャンパスプラザ京都

社会の複雑化や高度化がますます進行する中で、大学職員に求められる役割は一層重要となり、大学職員の「専門性」について今一度考える必要性が出てきています。

大学職員の専門性をめぐっては中央教育審議会でも議論されていますが、収束していないのが現状です。URA (University Research Administrator) のような高度専門職や人事・財務・広報等といったこれまで大学事務組織に備わっていた部署における専門性(能力)、アドミニストレーター等、議論するためのキーワードは多様であり、どの視点で考えるかで結論は異なります。

今回のSDフォーラムでは、大学職員の専門性とは何を意味するのか、それらをどのようにして身につけるのか、大学組織はどのようにして大学職員の専門性を育むのかを、参加者とともに考えます。

【申込期間】

◆加盟大学・短期大学の方 2016年8月10日(水)~9月16日(金)

◆非加盟大学・短期大学の方 2016年8月24日(水)~9月16日(金)

※先着順での受付となります。

※8月10日(水)~8月23日(火)の期間は、公益財団法人 大学コンソーシアム京都の加盟大学・短期大学の先行申込期間となりますので、加盟大学・短期大学以外の方はお申込みいただけません。

※先行申込期間中は、各分科会は優先定員(15名)までの受付となります。

※申込手続き完了後の参加分科会の変更はお受けできませんので、ご了承ください。

【定員】

基調講演 180名

分科会 各30名

【参加費用】

◆加盟大学・短期大学の方…3,000円

◆非加盟大学・短期大学の方…6,000円

※お支払いが完了した参加費の返金は致しかねます。予めご了承ください。

第1部：基調講演

10:00～12:00 (受付開始9:30)

テーマ：プロフェッショナルの働き方

講師：高橋 俊介氏（慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任教授）

講師より：

今、ビジネスに限らず多くの仕事の世界で、専門性がなければ成果を出せない領域が増加しています。一方でタコツボ的な受け身のスペシャリストではやはり成果に結びつかないのです。専門性は手段であり、それを成果に結びつけるのはやはりプロフェッショナルとしての働き方が不可欠です。専門性を成果に結びつける働き方についてお話しします。

講師経歴：

1978年東京大学工学部航空工学科を卒業し日本国有鉄道に入社。

1984年米国プリンストン大学工学部修士課程を終了し、マッキンゼーアンドカンパニー東京事務所に入社。

1989年に世界有数の人事組織コンサルティング会社である米国のワイアットカンパニーの日本法人ワイアット株式会社(現ウイリスタワーズワトソン)に入社。1993年に同社代表取締役社長に就任。

1997年7月社長を退任、個人事務所ピープルファクターコンサルティングを通じて、コンサルティング活動や講演活動、人材育成支援などを行う。

2000年5月慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授に就任。個人事務所による活動に加えて、藤沢キャンパスのキャリアリソースラボラトリーを拠点とした個人主導のキャリア開発や組織の人材育成についての研究に従事。

2011年11月から現職。

主な著書

『キャリアショック』(東洋経済新報社)、『新版 人材マネジメント論』(東洋経済新報社)、『自分らしいキャリアの作り方』(PHP新書)、

『新版 人が育つ会社をつくる』(日本経済新聞社)、『ホワイト企業 サービス業化する日本の人材育成戦略』(PHP新書)

第2部：分科会

13:00～16:00

分科会A

SDの義務化は何を意味するのか ～今後の更なる展開に向けて～

報告者：遠藤 翼氏（文部科学省 高等教育局大学振興課 課長補佐）

平成27年度末に大学設置基準の一部が改正され、SDについて規定されました。本改正の趣旨について簡単にお話させていただくとともに、今後の更なる展開に向けて、国（文部科学省）、大学、職員及びその他高等教育関係団体等が、それぞれの責任と役割に基づきどのようなことができるのか、何が課題となっており効果的な取組とは何か等について、議論を深めたいと考えています。

分科会B

SD義務化対策へのプロアクティブ・アクション

報告者：上畠 洋佑氏（金沢大学 国際基幹教育院 特任教授）

喜久里 要氏（早稲田大学 研究戦略センター 事務職員）

私たちはアカデミック・カフェ・キャラバン（ACC）という実践研究を通して、「国から言われたからやるSDからの脱却が必要」という多くの大学職員の声を聴き取ってきました。本分科会では、「主体性」と「内発的動機づけ」に着目した金沢大学におけるケースメソッドSDの実践紹介等を踏まえた参加者の対話型ワークショップを通して、所属機関でのプロアクティブ・アクション（先を見越した行動）に繋げる機会とします。

分科会C

知と汗と涙の近大流コミュニケーション戦略

報告者：世耕 石弘氏（学校法人近畿大学 広報部 部長）

多くの大学で「広告」と「広報」を担当する部署は別組織であると思いますが、本学は一本化し、いずれも「コミュニケーション」という位置づけで一貫性を持って実施しています。また SNS を利用した情報の拡散、メディアにいかにか話題としてとりあげてもらえるかを常に意識し行動しております。今回はそのような事例も踏まえながら、近大の戦略についてお話ししたいと思います。

専門性を考える

分科会D

「IR活動を学内で進めていくための実現可能な方法」を考える

報告者：橋本 智也氏（京都光華女子大学 EM・IR部 部員）

近年、日本において、IR（大学の様々な活動のデータを収集・分析し、大学の意思決定を支援）への期待が高まっています。一方でIR活動に取り組もうとしても、何をどのようにすればよいか戸惑う場合が多く、具体化が難しいという声も聞かれます。そこで、分科会Dでは、①考え方の説明、②実践事例の紹介、③意見交換を通して「IR活動を学内で進めていくための実現可能な方法」を参加者の皆さんと一緒に考えます。

分科会E

提案型職員が育まれる職場環境について考える ～現場スタッフと管理職とのグループワークを通じて～

報告者：広島経済大学 興動館

石田 真英氏 / 山手 貴弘氏 / 中山 紘之氏

大学の教育改革や改善を加速させるためには、一人ひとりの大学職員が、与えられたルーティンワークをただこなすだけでなく、企画立案や政策提案のできる能力を持った「提案型職員」になることが求められます。こうした提案型職員の育つ職場とは、活躍できる職場とはどのようなものでしょうか。広島経済大学興動館の事例を基に、多様な参加者と共に「提案型職員が育まれる職場環境とは」について、ワークショップ形式で検討し学び合います。

能力を高める

分科会F

次代を担う人材の育成と課題 ～大学職員としての主体性と幹部人材への目的意識を育む自己研鑽型研修～

報告者：岡田 雄介氏（龍谷大学 学長室(企画推進) 課長）

中島 剛氏（帝塚山大学 学生支援センター キャリアセンター 課長）

今後の大学運営においては、前例のない課題解決に果敢にチャレンジし「難局を突破する力」を備えた人材が求められます。

本分科会では、知識伝達型の研修では得にくい「解なき時代に必要な力」を養成するため、現実問題に則した課題解決を実践する龍谷大学と過去の学内等の取組を共有する帝塚山大学の事例を参加者と共有し、どのように工夫すればより効果的な人材育成に取り組めるのか、ワークショップ形式で意見交換を試みます。

第3部：情報交換会

16:15～17:15

キャンパスプラザ京都内ホールにて、立食形式の情報交換会を開催いたします。


申込方法

STEP1: お申込み

加盟大学・短期大学 先行申込期間:2016年8月10日(水)~8月23日(火)

申込期間:2016年8月24日(水)~9月16日(金)

申し込み手続き完了後は、参加分科会の変更はできませんのでご注意ください。

- ① <http://www.consortium.or.jp/project/sd/forum> から  にアクセスし、メールアドレスを入力・送信してください。
 - ② 送信いただいたメールアドレス宛に「参加申込みフォーム」のURLをお送りします。
 - ③ 送信されたメールに記載のURLにアクセスし、画面の指示に従って申込み手続きを行ってください。
- ※「参加申込みフォーム」URL通知メールが届かない場合は、メールアドレス誤入力の可能性がございます。その場合は、お手数ですが、「メールアドレス確認フォーム」にメールアドレスを再入力・再送信してください。

STEP2: 参加費のお支払

参加費支払期限:2016年9月30日(金)

【参加費用】 加盟大学・短期大学の教職員…3,000円 / 非加盟大学・短期大学の教職員…6,000円

申込み手続きが完了した方へ、払込票をお送りいたします。最寄りのコンビニエンスストアで参加費をお支払いください。払込票の取り扱い可能なコンビニエンスストアは送付している払込票の裏面に記載しております。銀行などの金融機関ではお支払いできませんのでご注意ください。

※お申込み手続き及び、参加費のお支払が完了していない方はご参加いただけませんのでご注意ください。

※お支払いいただく参加費については、印刷費、Webシステム運営費、通信費等、諸準備に使用いたします。いかなる理由があっても返金等には応じられませんので、予めご了承ください。

※参加費をお支払いいただきご欠席された方で報告集希望の方へは、SDフォーラム報告集を送付いたします。(2017年3月下旬発送予定)

STEP3: 参加証の受領

参加費の払込みが完了した方には、「参加証」をメールで送信します。

10月12日(水)までに参加証(メール)が届かない場合は、SDフォーラム事務局までお問い合わせください。

STEP4: 当日参加証持参

当日は、送信された参加証(メール)を各参加者がプリントアウトして持参し、受付にてご提示ください。

※代理出席も可能です。当日の受付にてお申し出ください。

※定員に空きがある場合でも、運営の都合上、当日の分科会の参加申込および参加分科会の変更はできませんので、予めご了承ください。

【報告集について】

2017年3月下旬発行予定です。

参加費をお支払いいただき、お申込みの際に報告集を希望された方へ、ご登録の住所宛に送付いたします。

会場へのアクセス

京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都線、JR各線「京都駅」下車。徒歩5分。

お問合せ先



公益財団法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto

〒600-8216
京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都
教育開発事業部 SDフォーラム事務局
TEL:(075)353-9163 FAX:(075)353-9101
E-mail:sd@consortium.or.jp
(日、月を除く9:00~17:00)

